

事業報告書 (平成29年度)

事業名 中高生・大学生・地域の大人の対話の場「中高生だっぴ」

団体名 特定非営利活動法人だっぴ 担当者名 河原 彩花

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

イベント名：生き方百貨 ひらけ！ぼくらの未来図鑑

日時：2018年2月3日（土）受付 12:30～/13:00～16:00

場所：岡山大学附属図書館3階 セミナー室A-C

参加対象者：岡山県内の中学生、高校生世代（学校にいていなくても可能）

当日参加人数：56名（中高生20名、おとな18名、大学生18名）

内容：岡山県内の中高生を対象に、岡山の大学生や魅力的な大人と出会い語り合うトークイベントを開催。以下3つのねらいを持ち、本企画を実施した。

(1)次世代を担う若者の地域への関心を高める

(2)自己肯定感やコミュニケーションの自信が向上し、自分や他者を大切にできる

(3)自分の関心や夢に気づき、行動する勇気を持てる

プログラム：

1. 中高生・大学生・大人が各2名程度にバランスよくなるよう6～7名程度のグループになって着席。
2. 司会の出題するお題に対する自分の答えをスケッチブックにキーワードで書き、一斉に見せ合ってそれぞれの考えを聴き合う。
3. 1時間ほどでグループのメンバーを変え、様々な人と出会い語り合った

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

(1)多様性

日常で出会わない年齢層や職種の人が出会うことで、社会には様々な生き方や価値観がある事に気づくプログラムを心がけました。他者を受け入れることから始めるルールや、安心して自己開示できるようにグループに事前に講座を受講したファシリテーターを開智するなどの工夫を行いました。

(2)継続性

今までの開催企画の反省として、一過性のイベントで終わってしまうという問題がありました。イベント前後での自己や地域への関心や行動への意欲の高まりはあるものの、行動に移す機会がないという理由からその場限りのイベントになってしまっていました。

今回は連結して中高生のチャレンジ企画のスタートさせる取り組みを行います。本企画

の参加者に告知を行った所、高校生4名と大学生3名から参加希望があり2月末より企画がスタートしています。続編のチャレンジ企画によりイベントだけでは成し得なかった“参加者の自己実現力を高め未来の岡山を担う若者を育て”事。またその過程で地域の人や魅力に出会い“地域への愛着を高める”事など、持続可能で豊かな地域への布石となるよう取り組みたいと考えています。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

全て参加者が「このイベントに参加してとてもよかった/よかった」と回答。満足度の高い企画となりました。詳細は別添えの報告書をご参照ください。

4. 今後の課題と展望

【課題】

(1) 広報

「参加対象者まで情報が届かない」

広報手段としてチラシを岡山県内中学校・高校などへ送り周知のお願いをしましたが、生徒まで情報が届いていた学校は少なかつたようです。SNSなどでの広報にも尽力しましたが、参加申込者の多くは知人からの紹介がイベントを知ったきっかけだった事も多く、中高生世代の目に届く情報発信の難しさを痛感しました。

(2) 会場

「分かりやすく参加しやすい場所」

今回は岡山大学での実施にしましたが、参加者や大学生から場所がわかりにくいとの声があがりました。主要駅より徒歩での移動が難しくバスでの移動が必要だったり、大学構内が広い為迷子になってしまったりなどの難点が判明しました。会場の大きさ、立地、雰囲気、費用などのバランスを考慮しながら、今後の実施場所について検討する必要があります。

また岡山市内でも公共交通が十分ではない場所からの参加が難しいため、開催場所や頻度、方法などを改善していきたいと思ひます。

【展望】

今後も継続して、中高生ならだれでも参加できるだつびのような機会を支えていきたいと思ひます。まだ岡山市でのボランティア活動への理解は浅く、中高生の地域との接点や自己実現できる機会はまだまだ少ないと感じます。今回参加した中高生が、次年度の「中高生だつび」の企画運営を行うなどの展開を行い、これからも岡山中で自分らしく豊かに生きながら、未来を担っていける若手プレイヤーが育っていく循環を支えていきたいと思ひます。